



発行所  
三池炭鉱労働組合  
大牟田市不知火町2  
電話 ③〇〇三番  
③〇〇三番  
編集兼発行人 滋田 紀生  
年間600円 送料共

### 夏季児童対策 特集号

組合は夏季児童対策を  
終りましたので、この  
号の2～4面はその  
特集号となりました。  
子どもたちの声を聞き  
ましょ。そして、どう  
ぞご意見を本紙へ寄  
せてください。

# 決まった七〇年闘争の目標 基本は命と暮らしを守る闘い

宮川組合長の手記

## 総評大会に参加して……

第四十四回総評大会は、九月十三日の関東で開催された。マスコミはこの大会を、いろいろと評していたが、私たちがその真実を知ることが何よりも大切である。さて総評大会はどんなことを討論し、どんなことをきき、そして七〇年闘争をどうすすめるべきかというか、そのまますべてを報告する。

### その背景は？

総評の第四十四回定期大会は、総評結成後二十周年を記念すべき年に開かれたが、その間に加え、七〇年代のまさに初年度にも当っているという現実から、格別重要な大会でもあった。当然ながら全国民の注目を浴びたのである。

### 提案の骨子

大会の任務の第一は、なんといっても運動方針の確立であるが、まず活動報告にたった若井事務局長の発言は次の通りであった。

### 運動はどのように前進しているか？

運動が前進した面を指摘されることの第一は、総評の団結力が賞金闘争の幅を広げたことである。十五年以前にわたり八つの単産で出た春闘だったが、今は総評に中央労連や未加盟の組合も加わり、同盟組合の組合員も立ちあがっている。なんと二十万人の労働者が、春闘に結集されている。まさに春闘相場を無視して、わが国労働者の賃上げはあり得ない。

### 克服すべき停滞面は？

運動における停滞面の第一は、反合理化闘争の不足があげられる。資本の体制的合理化攻撃にさらされている中で労働者は肉体的にも精神的にもスクランパ化されようとしている。

### 労働戦線の統一と政党支持の問題は？

労働戦線の統一の問題については、四原則(官公労と民間などの区別なく、あらゆる労働組合が結束すること、資本に対する戦闘性をひらくこと、社会主義政党との協力関係をひらくこと、大きく結果する場合には、既存の団体を解散すること)を基礎にしなければならぬことが決定した。

### 組織上の問題点は？

組織上の問題点としては、総評今後の運営、どう集団指導体制を確立し、また大衆路線にいかんにかつていくことである。

### 運動方針の基調は？

若井事務局長は以上のように、総評二十年の闘いを総括した上で、さて討論の結果確立した運動方針の基調は、「いのちと暮らしを守る闘い」を主軸としながら、そのための要求として次のようなものがあがります。

- 一、大幅賃上げの獲得。
- 二、労働強化反対。
- 三、職場の労働条件をひき上げ、権利を守る、資本の労務政策と対決し闘う。
- 四、公害、物価、税制など、市民との共同を強めて闘う。
- 五、ストライキ権奪還、不当弾圧反対の闘いを強める。
- 六、沖田奪還、安保廃棄、反戦平和、平和憲法擁護の闘いをすすめる。

### 討論の内容は？

討論が労働戦線の統一と、政党支持の問題に集中して進んだことは事実です。

### 今後の課題は？

第一に労働戦線の統一については、予想された民労連(民間労働組合懇談会)系の組織なり、その考えをもって代議員からの発言がまったくなく、その反対の側からばかり、多くの意見が出されました。

### 敵と対決してゆく限り総評の発展は確実

若井事務局長は大会最後の答弁の中で、次のように述べています。「現在よくもまた、総評は停滞してはいるが、退縮してはいるが、力がなにかいわれている。私はそう見えていない。なぜなら総評は、独立資本と反動政治に徹底して対決した組織は、ほかにない。だから、総評に対する敵の攻撃は、けしきである。」

### 要は身近な要求から、闘いを開始すべきだ

要は身近な要求から、闘いを開始すべきだ。やがては必ずすべての労働者が、政治を改革しなければならぬとする思想を闘いとらねばならない。したがって、総評の運動は必ず発展し、明るく展望がある。

### 以上経過の未総評大会は、いのちと暮らしを守る闘い」を土台に据えて、大綱の闘いを基調とする七〇年度の運動方針を満場一致決定しました

また、三池炭組の闘いと同意であり、また、私たちがいっしょに闘いを強めて、七〇年代の初年度の重要な闘いを、力強くすすめていこうと思っております。